

クラス番号	222	ゼミタイプ	地域研究型
		担当教員名	中村 強士
テーマ	子どもの「遊ぶ権利」輝く、子どもの居場所を考える		

ゼミナール概要

問題意識：

「児童の権利に関する条約」（子どもの権利条約）が1989年に国連で採択されてから30年以上が経ちます。1994年にこれを批准した日本では、子どもの権利条約にそった「子どもの最善の利益」が現実には保障されているでしょうか。特に、2016年に児童福祉法の総則、さらには2023年施行されたこども基本法にも子どもの権利条約の精神が盛り込まれました。今後、ますます子どもの権利を尊重した子ども福祉施策を日本は展開しなければならないといえます。もちろん、私たちには子どもの権利を尊重した子ども支援が求められています。

そのためには、子どもとは何か、いまの子どもの姿から学ぶことが必要です。子どもたちが遊ぶ様々なフィールドに参画させていただきます。

- 目標：**
- ①「子どもの遊ぶ権利」に関する現状と課題を理解する。
 - ②子どもたちと遊ぶことを通して、子どもたちと全力で楽しむ力を養う。
 - ③仲間との共同作業を通じて自分を知り、仲間とともに成長する。

計画（内容・方法）：

- 前期：①「子どもの遊ぶ権利」に関する事前学習（研究活動）を行います。
- ②夏休みに行く「子どもの遊び企画」の事前準備を行います。
- 夏休み：名古屋市唯一の大型児童センター「とだがわこどもランド」（名古屋市港区）において、1日、「子どもの遊び企画」を運営・実施します。
- 後期：①興味・関心にもとづいたグループごとに事前学習（研究活動）を進めます。
- ②フィールドワークを行います。
- ③フィールドワーク報告会を行います。

※活動には交通費がかかります（ただし、以前はゼミ活動費等ですべてまかいました）。

※ゼミ生の希望のもと、施設見学・フィールドワークや、バーベキュー・パーティーを実施します。



担当教員からのメッセージ



私は、保育・子育て支援、学童保育（放課後児童クラブ）、放課後等デイサービス、児童館、子ども食堂などを中心としたフィールドにかかわり、研究・実践活動を続けています。

ゼミではゼミ生一人ひとりの自主性・主体性を求めています。〇〇を学びたい、〇〇へ見学に行きたい、〇〇をみんなで食べたいなど、積極的に提案する学生を期待しています。

本ゼミを希望する学生は「エントリーシート」に、①本ゼミを希望する理由、②目指す将来像、③趣味・特技、④自己アピール、の以上4点を記入してください。